

令和6年度 事業報告

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行った。

1 未来を担う人材育成事業

住民が主体となった地域活性化を推進するため、幅広い年代を対象とした地域づくりの人材育成を展開した。

(1) たじま未来づくり講座の開催

自然・歴史・文化など多様な地域資源を活用し、知る・学びの場を提供することで、より多くの住民に地域づくりについて関心を抱かせ、但馬を担う人材の育成と裾野の拡大を図るために、14 講座を実施した。

- ① 期 間 令和6年4月27日～12月1日
- ② 会 場 豊岡市民プラザほか但馬各地
- ③ 受講者数 82 人
- ④ 講座内容 共通8講座（座学）、選択6講座（現地） 計14 講座

開催日	内 容
4/27(土) 〈座学〉	共通① 【講演】「笑い」で但馬を元気に！ 共通② 【寄席】～あなたも笑って元気に！～ 講師 春歌亭 丹馬 氏 (出石永楽館・全国子ども落語大会 事務局長)
5/18(土) 〈現地〉	選択① 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」構成文化財：口銀谷『生野』 朝来市生野町口銀谷
6/2(日) 〈座学〉	〈特別講座〉 共通③ 第10回おんぷの祭典 ファイナルコンサート鑑賞
6/29(土) 〈現地〉	選択② 魅力再発見！但馬五社巡り 但馬五社
7/20(土) 〈現地〉	選択③ 世界農業遺産認定 世界に誇る『但馬牛』 但馬牧場公園
7/28(日) 〈座学〉	共通④ たじま・まちづくりカフェ ～身近な地域づくりを考える～ アドバイザー：山室 敦嗣 氏 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授) 事例発表「年中行事を活かした地域づくり」桑島 悠地 氏
8/17(土) 〈座学〉	〈特別講座〉 共通⑤ 但馬文教府「サマーカレッジ」 仏教に生きる ～ 苦悩のまま生きる ～ 源光寺 副住職 源 裕樹 氏

開催日	内 容
9/7(土) 〈現地〉	選択④ 今なお影響を与え続ける『山田風太郎』 養父市関宮
9/28(土) 〈現地〉	選択⑤ 情緒あふれる但馬の小京都『出石』 豊岡市出石町
10/19(土) 〈現地〉	選択⑥ 石と時間が織りなす自然の神秘『玄武洞』 豊岡市赤石
11/9(土) 〈座学〉	<特別講座> 共通⑥ 『Scenography X? (セノグラフィーとは?)』 講師 杉山 至 氏 (芸術文化観光専門職大学 准教授) 共通⑦ 『学ぶとは何か ― たじまの学校と演劇ワークショップ ―』 講師 平田 知之 氏 (芸術文化観光専門職大学 講師)
12/1(日) 〈座学〉	共通⑧ 第19回 但馬検定



町並み散策（朝来市生野町口銀谷）



ソーセージ作り体験（但馬牧場公園）



出石まちあるき（豊岡市出石町）



芸術文化専門職大学講師による
ワークショップ（但馬長寿の郷）

(2) たじま未来探検隊の実施

但馬の将来を担う子どもたちに、優れた技術を持つ企業や地域資源を利用した活動等について学ぶ機会を提供し、地元への愛着や誇りに思う心を育み、住み続けたい、将来戻りたいという気持ちを醸成するために実施した。

- ① 実施日 令和6年8月5日、19日
- ② 参加者 79名（小学校4～6年生、保護者）
- ③ 内 容 猿尾滝や香住漁港の巨大冷凍庫、余部鉄橋「空の駅」の見学、焼ちくわ作り体験



余部鉄橋「空の駅」見学



焼ちくわ作り体験

2 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外にその魅力を発信する機会として実施した。

(1) 第19回但馬検定の実施

- ① 試験日 令和6年12月1日
- ② 試験場所 県立但馬長寿の郷、豊岡稽古堂
- ③ 試験結果

※（ ）は前回数値

問題100問 100点満点	上級の部（1級・2級共通）		初級の部	計
	1級(80点合格)	2級(60点合格)	3級(70点合格)	
申込者数	53人(38人)	27人(29人)	69人(43人)	149人(110人)
受検者数	46人(37人)	21人(23人)	58人(34人)	125人(94人)
合格者数	26人(17人)	17人(17人)	46人(25人)	89人(59人)
合格率	56.5%(45.9%)	81.0%(73.9%)	79.3%(73.5%)	71.2%(62.8%)
平均点	79.8点(76.9点)	73.3点(66.1点)	82.5点(77.4点)	
最高点	93点(94点)	90点(94点)	100点(98点)	
最年少合格者	33歳(42歳)	25歳(26歳)	19歳(21歳)	
最高齢合格者	80歳(79歳)	74歳(72歳)	79歳(81歳)	



豊岡稽古堂試験会場



但馬長寿の郷試験会場

(2) ウェブサイト「ザ・たじま」の運営・活用等

子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報に楽しみながら触れる機会として、但馬検定公式サイト「ザ・たじま」を管理運営し、サイトを活用した学びの場を提供した。

- ① ウェブ版但馬事典「ザ・たじま」の情報更新
- ② 「検定受検対策ポイント解説動画」の期間限定掲載や「過去問で受検対策」など、但馬検定関連情報を提供
- ③ ふるさと出前講座の実施

但馬文教府但馬探求アカデミーコース基礎講座受講生を対象に、但馬検定の模試試験と解説を実施し、但馬を楽しく学ぶ但馬検定をPRした。

- ・実施日 令和6年4月23日
- ・場 所 但馬文教府
- ・参加者 18人

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1 但馬の魅力発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

(1) ウェブサイト「但馬情報特急」等の運営

ウェブサイト「但馬情報特急」や令和6年9月に開設したInstagramを活用し、但馬のポータルサイトとして、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し提供した。

ア ウェブサイト「但馬情報特急」

- ① ページビュー数 749,412件（令和7年3月末現在）
- ② ユーザー（訪問者）数 443,014人（ 〃 ）

イ 公式Instagram

- ① 投稿 45件
- ② フォロワー数 452人（令和7年3月末現在）



公式Instagram

(2) インフルエンサー まさかず氏との連携

「但馬情報特急」や「但馬ファンクラブ」の認知度の拡大を目指し、フォロワー数 3.9 万人を誇るインフルエンサーまさかず氏（山陰北近畿魅力発信）に、タイアップ・共同投稿をしていただいた。

「但馬ファンクラブ」会員権（1 年分）を無料で提供し、協賛施設でパスポートを利用していただき、その様子を投稿することで、協賛施設の宣伝に活用した。

- ① 期 間 令和 6 年 12 月～令和 7 年 3 月
- ② 内 容 1 か月につき 2 回の投稿（報酬は、50,000 円/月）

(3) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力あふれる地域資源や取組をクローズアップするとともに、観光・イベント等の旬な情報を掲載した、但馬の魅力を紹介する情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年 3 回 〔夏号（6 月）、秋冬号（10 月）、春号（2 月）〕
- ② 発行部数 各 7.4 万部
- ③ 配布先 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、報道機関、金融機関など



(4) 但馬ツーリズムマップの発行

交流人口を拡大するため、但馬の魅力・見どころをまとめた、周遊観光に便利な観光マップを発行した。

- ① 部 数 17,500 部
- ② 配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など

2 たじま暮らし推進事業 〔県民局からの委託事業〕

但馬地域への移住・定住を促進するため、ひょうご北部移住定住相談窓口「たじま暮らしサポート BASE」を運営し、移住希望者への情報提供や支援事業を実施した。

(1) 移住相談員の配置

「たじま暮らしサポート BASE」に移住相談員を配置し、U・I ターンを考えている方への移住相談や各市町、関係団体と連携した移住支援を行った。

- ・相談件数 404 件（令和 7 年 3 月末現在）

(2) たじま暮らし情報の発信

たじまU・I ターン情報サイト「ひょうご北部で暮らす」や移住マッチングサイト「SMOUT」、令和5年に開設した但馬の若者による若者向けのウェブサイト「20GRAPHIE」等を活用して、たじま暮らしに関する情報を提供した。

(3) 移住イベント等の実施・出展

県民局、市町、関係団体等と連携した移住・定住促進イベントを実施するとともに、各種団体が主催する移住イベントに出展した。

① 移住促進イベント等への出展

県外在住の移住希望者をターゲットとし、各種団体が主催するイベントに管内市町とともに「オール但馬」として参加し、来場者の相談に対応した。

・兵庫～五国～移住・交流フェア in 大阪 ほかに 12 回（東京、大阪）

② 二十歳の記念無料フォトイベント「20GRAPHIE」の実施

・実施日 令和7年1月12日

・内 容 養父市の「二十歳のつどい」会場で、LINE 登録いただくことで記念写真を無料で撮影するイベントを開催し、将来のUターンにつながるよう地元情報（企業求人、イベント等）を発信した。

・参加者 25 組 144 人（うち二十歳該当者は 76 人）



兵庫～五国～移住・交流フェア in 大阪



20GRAPHIE in 養父市

(4) オーダーメイドツアーの実施

但馬地域への移住や2拠点居住を具体的に検討している方を対象に、住まい、仕事、生活、子育て環境等の個々のニーズに応じた現地案内を実施した。

また、仕事探しを支援するため、企業見学や就労体験、先輩移住者へのヒアリング等、個々の希望に応じた仕事体験ツアーも実施した。

① たじま移住体験オーダーメイドツアー

・実施回数 18 回（令和7年3月末現在）

・内 容 地域の案内、各種施設の案内、先輩移住者との面談など

② たじま「仕事×暮らし」体験ツアー

・実施回数 5 回（令和7年3月末現在）

・内 容 農業体験、自然農見学、酒造り起業者面談など

(5) 移住受け入れ体制の強化

移住者や移住希望者の交流機会を設定するなど、つながりを育み、安心して暮らし続けられる環境づくりを推進した。

① 移住者交流会の開催

- ・実施日 令和6年11月30日
- ・内 容 地域おこし協力隊研修会との合同イベントとして朝来市生野町で開催。口銀谷まちあるきの後、吉川邸にて地域おこし協力隊の事例発表や移住者交流カフェを実施した。
- ・参加者 15人

② TAJIMA TURNS MAP（先輩移住者マップ）の作成

移住を希望している方が、先輩移住者に直接会って体験談や暮らしぶりを聞けるようマップを作成し、たじまU・Iターン情報サイト「ひょうご北部で暮らす」に掲載した。



移住者交流会（朝来市生野町）



TAJIMA TURNS MAP



Ⅲ 自然と調和した新しい但馬づくりのための自然環境保全活動に関する事業

但馬の美しい自然環境の保全や住民の環境保全に対する意識の向上、豊かな自然を生かした活動等を推進するため、次の事業を行った。

1 美しい但馬づくり支援事業

(1) クリーン但馬 10 万人大作戦への支援

但馬全域で環境美化活動を行う「クリーン但馬 10 万人大作戦」に要する経費の一部を助成した。

- ① 対象団体 クリーン但馬 10 万人大作戦推進協議会
- ② 活動内容 但馬全域の住民や企業、各種団体が参加する清掃・美化活動
平成2年から毎年実施され、大規模な環境美化活動として定着
- ③ 助成額 100千円

2 自然環境学習事業

(1) 「たじまのしぜん」ブログの発信

但馬の動植物を紹介・解説する記事をウェブサイトで発信し、自然の豊かさや自然環境の保全について啓発した。

- ① 発信ツール ウェブサイト「但馬情報特急」の「たじまのしぜん」コーナー
- ② 内 容 生息している動物、鳥、魚、昆虫、植物等について、専門家がわかりやすく解説した記事を毎週掲載した。
- ③ 記事制作 NPO 法人コウノトリ市民研究所に委託



ウェブサイト「但馬情報特急」の
「たじまのしぜん」コーナー記事

IV その他の事業

1 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、ファン・リピーターを拡大するファンクラブ事業を展開し、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図った。

(1) 加入状況（令和7年3月末現在）

会員数 1,714 人（1年会員、3年会員の総数）

(2) 運 営

- ① 施設利用の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付（年3回）
- ③ 但馬の特産品等のプレゼント
(年3回、抽選で計150名に)
- ④ 但馬内のミュージアム等無料招待券の配付
 - ・実施期間 4月1日～11月30日
 - ・対象施設 玄武洞ミュージアムほか8施設
 - ・利用者数 392人



但馬の特産品プレゼント賞品



ミュージアム無料招待券

⑤ 会員限定バスツアーの開催

当協会設立 30 年を記念して、かねてより会員から要望があったツアーを実施した。

- ・実施日 10 月 6 日
- ・内 容 但馬五社巡りやそば打ち体験、出石城下町を観光協会のガイド付きで散策した。
- ・参加者 25 名

⑥ ロゴデザインの作成

認知度向上のためのツールとして活用するため、公募によるロゴデザインコンテストを実施した。

- ・応募資格 但馬を応援してくれる方
- ・応募数 98 点
- ・選 考 応募デザインから当協会内で採用候補を 6 点選考
会員投票（総数 808 票）により決定



会員限定バスツアー（出石神社）



但馬ファンクラブ ロゴデザイン

(3) 入会のPR活動

① 新規会員獲得のための入会促進事業

城崎温泉ツーリストインフォメーション SOZORO やコウノトリ但馬空港の「空の日スペシャルイベント」、商業施設内のイベントブースなどで、但馬のPR やゆるキャラグッズ作成、但馬クイズコーナーを実施し、入会者には但馬の特産品が当たる特別抽選会を行った。

- ・実施回数 3回
- ・新規入会者数 26名（令和7年3月末時点）

※2/16の移住フェアに同時出展

② 但馬外のリピーターが多いイベント等との連携企画の実施

イベント応募者等に但馬ファンクラブの1年会員権を進呈した。

- ・播但道キャンペーン…応募者（播但道のSA、PA等に設置のスタンプ押印で応募可。） 186名
- ・みかた残酷マラソン…前夜祭の抽選会当選者 7名
- ・豊岡演劇祭2024 …「うずまくパス」購入者 44名



新規入会キャンペーン（ららぽーと EXPOCITY）



播但道キャンペーン

V 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を次のとおり開催した。

1 理事会

(1) 第72回理事会

- ・期日 令和6年6月6日
- ・場所 豊岡健康福祉センター

(2) 第73回理事会

- ・期日 令和6年7月5日
- （定款第30条第2項の規定に基づく決議の省略による書面決議）

(3) 第74回理事会

- ・期日 令和7年2月17日
- ・場所 豊岡健康福祉センター

2 評議員会

(1) 第30回評議員会

- ・期日 令和6年6月25日
- ・場所 豊岡健康福祉センター

(2) 第31回評議員会

- ・期日 令和7年3月5日
- ・場所 豊岡健康福祉センター